

「自分の意思で生きたい

～認知症専門医の父・長谷川和夫が残したもの～

講師 南高 まり氏

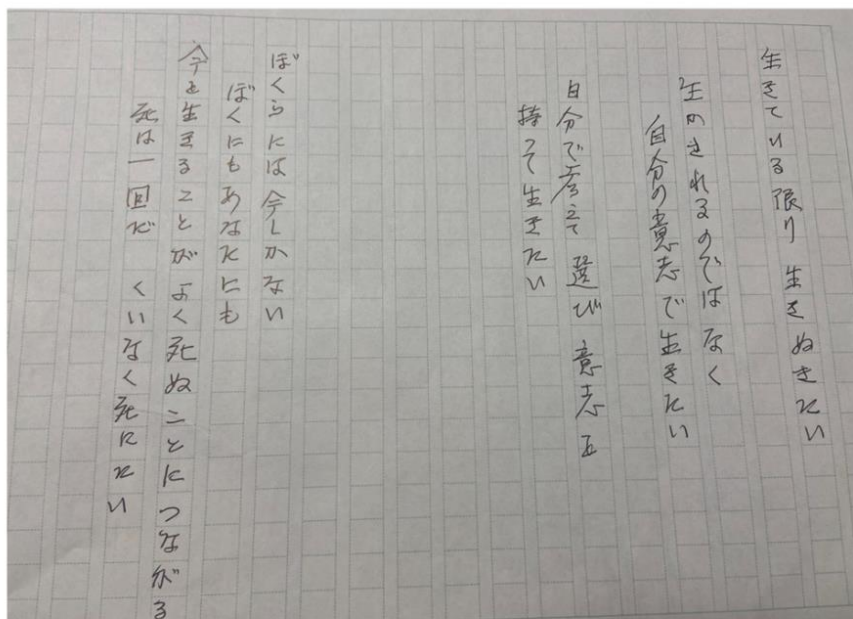
令和6年7月21日（日）名古屋市公会堂4階第7会議室にて「自分の意思で生きたい～認知症専門医の父・長谷川和夫が残したもの～」を開催しました。認知症となった父を支える中での苦悩や葛藤。認知症になられた事で、長谷川先生ご自身が気づき、使命として伝えられてきた事を担当介護支援専門員とのエピソードを交えてお話をいただきました。

質疑応答では実際の認知症家族介護での悩みに対して、経験談をもとに励ましのお言葉をいただき会場内では涙ぐむ姿もあり感動的でとても貴重な研修会となりました。

参加者からは

- 「認知症になった方の苦しさを思い、安心して話していいと感じていただける支援者になる」
- 「目標を持って生きる事を諦めさせない事はケアマネの役割の一つであると痛感した」
- 「目線を同じ高さにし、利用者の意思を確認していくよう努めていきたい」
- 「利用者に対して親身に対応していく」「相手を知るを大切にする」
- 「長谷川先生の娘様にお会いでき、貴重な時間を過ごせて嬉しかった」
- 「生活や大切にしてきた事から希望を深掘りしケアプランに反映させていきたい」等のご感想をいただきました。

直筆の原稿 2020年 撮影：浅田悠樹



父(認知症専門医 長谷川和夫)との対話

～気持ちを伝え合うケア・暮らしの中で学んだこと～



精神保健福祉士
南高 まり

